

各務原市

少年センターだより

令和5年度 第5号
令和5年12月8日
各務原市少年センター発行

今年も残すところわずかとなりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。
寒さも本格的になってまいりました。健康に留意され、今後も補導活動へのご協力をよろしく願いいたします。



表彰紹介

永年にわたる補導委員としての功績が認められ、次の方々が表彰を受けられました。おめでとうございます。(敬称略)

日本善行会表彰 <銅章> (22年) 11月25日

西川 淳一 (鵜沼三) 伊藤 典輝 (緑苑) 小川 義英 (蘇原一)

各務原市制施行60周年記念表彰 (18年以上) 11月4日

永井紀美子 (稲羽東) 五嶋 正秀 (稲羽東) 上松 征夫 (中央) 棚橋 優 (八木山)
苅谷 正行 (那加三) 林 達也 (中央) 前田 師伯 (稲羽西) 平林 弘人 (尾崎)
坂井 達美 (那加三) 三輪 真二 (陵南) 西川 淳一 (鵜沼三) 伊藤 典輝 (緑苑)
小川 義英 (蘇原一) 各務 英雄 (那加一) 富樫 徹 (稲羽東) 池田 利香 (緑苑)
今井 正 (蘇原一・令和4年度末退任) 山口 道弘 (陵南・平成30年度末退任)
出雲 一幸 (蘇原一・平成29年度末退任) 吉田す江子 (鵜沼一・平成28年度末退任)

岐阜県環境生活部長表彰 (10年) 11月19日

桐井 希裕 (尾崎) 薫田 友志 (鵜沼一)
石田 妙美 (蘇原一)



薫田友志様 桐井希裕様 石田妙美様

各務原市教育委員会表彰 (6年) 10月26日

杉山 守 (那加三) 岩田 紀正 (稲羽西)
野田 恵子 (川島) 福重 治 (鵜沼三)
鷺見 眞 (蘇原一) 伊藤 浩 (鵜沼二)
大塚 道 (稲羽西・令和4年度末退任)
丹羽美保子 (稲羽東・令和4年度末退任)



鷺見眞様 伊藤浩様 丹羽美保子様
福重治様 大塚道様 岩田紀正様

岐阜県青少年育成県民会議表彰 (5年) 11月19日

田中 時雄 (那加二) 林 恒好 (那加二)
北野 憲弘 (那加二) 横山 正弘 (蘇原一)
小川 寿一 (蘇原二)



田中時雄様 横山正弘様

各務原市青少年育成市民会議表彰（4年）10月26日

宇野澄美夫（那加三） 水野 香織（川島）
金森 幸雄（鵜沼三） 西田 幸二（蘇原二）
水野 満夫（鵜沼二） 玉木 和夫（陵南）
仲田 誠志（那加三・令和4年度末退任）
栗城 恵（那加二・令和4年度末退任）
西森ウメヨ（尾崎・令和4年度末退任）



栗城恵様 仲田誠志様 玉木和夫様
西森ウメヨ様 水野満夫様 西田幸二様 宇野澄美夫様

～心よりお喜び申し上げます～

補導委員交流会 11月10日

浅野市長様、鈴木生活安全課長様、加藤教育長様、横山事務局長様を来賓にお迎えして、49名の皆様で開催されました。

初めに、蘇原中校区仲野代表幹事が「皆様の温かい声かけのおかげで、市内の青少年は落ち着いて生活していると聞いております。今後も子どもたちの健やかな成長を願い補導活動に取り組みたいと思います。」と挨拶されました。

続いて、日本善行会より特別表彰善行銀章を受賞された上松征夫様、秋季善行表彰銅章を受賞される伊藤典輝様・西川淳一様・小川義英様が紹介され、伊藤様からお言葉をいただきました。

4年ぶりの開催となった今回の交流の場では、それぞれの校区の情報交流や日頃の補導活動の思い出を出し合いながら、楽しく有意義なひとときを過ごすことができました。

幹事校区の蘇原中校区、会計の中央中校区の皆様には、当日の会場のお世話等、ご尽力をいただきありがとうございました。



第2回学校警察補導連絡協議会 11月27日

各務原警察署生活安全課長様、教育長、担当校長、市内主幹教諭、市内小中特支高等学校の生徒指導主事、市教委指導主事、センター職員が出席し、児童生徒の現状の情報交流が行われました。

各務原警察署生活安全課長様より、市内少年犯罪での検挙・少年補導ともに、昨年の2倍ほど増加しており、児童虐待も増えているとのこと。主幹教諭、生徒指導主事の先生方からは、SNSにかかわる問題行動があり、保護者からの相談もあるとのこと。学校教育課指導主事より問題行動総数は、小学校は前年並み・中学校は減少傾向であること。また、問題行動の未然防止や問題を起こす児童生徒への対応についての説明がありました。

少年センターからは、補導活動がコロナ禍前のように実施され、補導委員による積極的な「声かけ」や見守り活動を行っていることや、公園などで出会う子どもたちの礼儀正しい姿の紹介、また、未成年者による喫煙などの問題行動や、落書き等の問題状況を報告しました。

管外研修 三重県立国児学園（児童自立支援施設）10月5日

今年度の少年センターの管外研修には、補導委員34名の方が参加され、三重県立国児学園を訪問しました。

4年ぶりとなる今年度の研修では、自立支援施設の様子や入所児童への支援のあり方について伺い、今後の補導活動での子ども達への接し方について考えるよい機会となりました。



『三重県立国児学園への管外研修に参加して』 蘇原中学校区補導委員 小川 義英

10月5日当日は、ちょっと肌寒くどんよとした天気でしたが、37名で三重県津市にある国児学園を訪問しました。

まず、加藤園長様から、講演及び施設の説明を受けました。全国の児童養護施設が2000施設あるのに対して、児童自立支援施設は58施設しかないことに驚きました。さらに「夫婦小舎制」の運営をしているのは、そのうちの17施設であり、国児学園もそのうちの1つでした。

国児学園では、特定の職員との人間関係構築を大切にする24時間体制の福祉的ケアを行っているようですが、定員も在籍数も減っているようです。入所児童は昼間、学園内に併設する分校（地域の小、中学校の分校）にて授業を受け、課外活動ではスポーツや農業による生産活動、和太鼓等の文化活動を行っています。児童福祉法第44条に基づく施設であるため、入所対象は18未満の児童ですが、基本的には小・中学生であり、中学卒業後の児童の扱いには課題があるようです。

20年ほど前の入所理由は、窃盗や傷害加害行為、飲酒、喫煙など、集団での非行が多かったのですが、現在はほとんどいなく、最近では、一見おとなしそうな子どもによる、性非行、流されてしまう非行など、個の問題行動によることが多いそうです。子どもたちの特徴には、知的・発達障がい、施設不適應やコミュニケーション不適應、こだわりなどがあり、「非行した子どもを鍛え直す側面から、今は褒めて伸ばす。子どもたちが『育ち直し』をする場所」の役割があるそうです。

また、国児学園では「子どもの人権を尊重し、きちんと自分の名前を呼んでくれる身近な人々に囲まれて、機嫌よく過ごす環境づくり」を大切にしていることが心に響きました。

国児学園の支援は、子ども達の特徴・発達障がいに気づいて「手当て」することです。過酷な家族関係にある子ども達の関係修復を行うことは、施設スタッフだけでは限界があるため、卒業後の環境、連携、予後の見守りも含め、少年補導員、民生委員等の地域の方々との協力が不可欠です。

各務原市少年センターからお願いをした、「補導中に会った時の子どもへの対応力」についてもお話しをしていただきました。



1. 「わざと」、「成り行き」、「自然現象」は違う。（故意・悪意の交通整理が必要）
2. 子どもを叱る勇気と決意が大人に必要。（叱るタイミングにも注意）
3. 叱る時間のコツ 年齢×60秒で完結。（注意・説明・反省・謝り）
4. 困りごと相談、頼りになる大人が身近にいること。（子どもの人権を尊重）
5. 普段、何も起こっていないときに関係構築することが大事。

今回研修に参加することができ、たくさんのことを学ばせて頂きました。改めて、今後の補導活動での声掛けに生かしていきたいと思えます。

10月～11月の補導活動から（一部抜粋）



那加中校区

快晴のせい、各公園とも家族連れでにぎわっていました。敷地内の芝生等も自治会の協力のおかげか、きれいに刈り取られていました。小学校の先生からの要請で、プリニー体育館東側のふれあいバスロータリーを点検してみました。中高生のたまり場となっていて、小学生が脅された情報があったとのこと。今日は誰もいませんでした。

桜丘中校区

市民公園では全国エンタメまつりが開催されていました。ゲームや物販のテント村、グルメのキッチンカー、ダンス、ゲームなどの催しがあり、多くの家族連れから、若者男女、小学生まで公園内にあふれていました。小6の3人組女子児童に声をかけると、この公園内では6時間もいるとのこと。公園の近くの児童で、今から帰るところとのことでした。

稲羽中校区

補導委員が男・女2人になってしまったので車での移動は避け、各務原イオンに現地集合をして補導活動をしました。ゲームコーナーで腕章をしながら巡回することにより、抑止力に繋がれば良いかと思いパトロールをしました。全体的に家族で買い物に来ている方が多くみられ混み合っていました。問題はありませんでした。

川島中校区

気候も落ち着き過ぎやすく、夕暮れ前の為、子どもたちがチラホラと遊んでいた程度で、あまり声かけができませんでした。緑町西公園では、元気にボール遊びをしていた子どもたちに、声かけをしました。半袖で遊んでいた為、風邪をひかないかと心配しましたが、元気な姿を垣間見てほっこりしました。

鶯沼中校区

ゲームセンターピコには小学生中学年が3人、ドン・キホーテのゲームコーナーには小学生高学年が3人子どもだけでいたため、声をかけた。地下道は、たばこの吸い殻が複数本落ちていた。落書きも少しあった。すれ違った高校生が元気よく挨拶をして通り過ぎた。羽場公園は、寒かったが縄跳びやおにごっこをして元気に遊ぶ子どもたちの姿が見られた。

緑陽中校区

風の寒さもあり公園等への人出は少人数でした。鶯沼 IC 地下道でスケボーをしている高校生2名と遭遇。挨拶と声かけを実施。タバコ、飲酒等の形跡なく、気持ち良い挨拶も返してくれるなど危険性なしと判断。迷惑にならないよう説明の上、早く帰るよう促しました。ただ、地下道のゴミは相変わらずで回収しました。



蘇原中校区

暗くなる時刻が早くなってきました。公園で遊ぶ子どもも少なかったですが、東山ニュータウン内公園で遊んでいる子どもが6人位いたので、暗くなる前に帰るように声をかけました。話を聞けば、鶯沼方面から来た子もいて、誕生会だったようです。蘇原方面は塾が多く、そこで出会ったようでした。学区、地区関係なく声かけができたと思います。

中央中校区

公園はまだ時間も早かったためか、親子連れや中学生が遊んでいました。三ツ池西公園ではホッケーの練習をしている小中学生がいました。浪漫遊はあい変わらず親子連れが多く、子どもだけで来ている人は見当たりませんでした。

◆ご確認ください（ゲームセンター等巡回日の申し合わせ）

浪漫遊	ゲームピコ	ドン・キホーテ
蘇原…土曜日	鶯沼…土曜日	鶯沼…巡回の初め
中央…日曜日	緑陽…日曜日	緑陽…巡回の終わり

※補導で店舗を訪問する場合は、上記の曜日を参考にしてください。